

土浦平和の会

ニュースNO・65 1998年8月

発行 土浦平和の会
 事務局 土浦市神立町2664-2
 TEL 31-9122

核兵器はあってはならない!

4ノド元海章 議長弓&刃ス氏 原水禁世界大会ヒロシマで

今年もまたあの八月がやってきました。原水禁世界大会は「世界諸国民の運動で核兵器のない21世紀を」の宣言を採択しました。宣言は「人類が平和な未来を築くためには世界諸国民の世論と運動が決定的に重要である。核兵器廃絶の声をさらにひろげ、核兵器に固執し、核脅迫をおこなう勢力を包囲しなければならぬ」と訴えています。今月から2000年までを国際共同行動期間とし、全世界でヒロシマ・ナガサキからのアピール署名をけじめ多様な取り組みを強めることを呼びかけています。閉会総会に飛び入りであいさつしたインドの元海軍参謀長ラムダス氏は「心の中に大きな葛藤があったが、核兵器の破壊力を考えるにつけて、みなさんと同じ結論に達した。」[核兵器はあってはならない。]と広島ではこの1年間に死亡したり、新たに死亡が確認された人は4,927人、長崎では3,186人です。被爆者健康手帳保持者は全国で約31万2,000人います。そして今年は、インド・パキスタンの核実験の衝撃から国際的にもこの大会に対して大きな期待が寄せられ、青年たちのヒースジャムにはニューヨークの高校生グループが参加したり、「女性のつどい」に1,700人、日生協の「虹のひろば」に1,500人が参加するなど多彩な取り組みがくりひろげられました。世界各国で核戦争阻止、核兵器廃絶の運動は高まりを見せています。



緊急パンフレットを活用しよう 100円(日本平和委編)

おことわり川

17メリカのための戦争協力法「新ガイドライン関連法靴

1 あなたの街が、あなたが、ねらわれている



自治体も国民も戦争に動員

あなたの街が、あなた自身が
ねらわれている

日本が武力行使と一体の米軍支援活動
兵員、武器・弾薬、燃料、食料などの
補給一輸送、修理・整備、衛生、通信
など物品・役務の提供
負傷兵の治療、兵士の衣食住を支える
様々な活動。

戦闘によって遭難した兵士を捜索救難
する活動を公海・他国鎖海でも行う。
船舶臨検、邦人救出など。
そのために武力行使も可能にする。

行事ごよみ

8・12 平和の会理事会(1中地区公)
8・ 平和行進総括会議(つくば)

ツへ£)ら

(S'98平和ツアー

ぶとき 10月25(日)26(月)

〇ところ 長野県

無言館(戦没画学生記念館)

ちひろ美術館など

主費 催用 2万円

土浦平和の会・ポッポの会

連絡先 31-9122(井上)

42-7960(福島)

り
9
£

C)く、、吻咫